

2013年1月17日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報4号  
スラム街対策状況について

16日にリオ市北部のマンガイーニョスとジャカレジーニョの2カ所にUPP(軍警察治安維持部隊)が設置され、リオ州のUPPは合計30カ所になりました。

リオ市北部では現在も麻薬密売組織対策活動が活発に行われており、リオ市北部のアヴェニーダ・ブラジルやリーニャ・ヴェルメリヤ、リーニャ・アマレラ沿線の治安改善が期待されています。

その一方で、治安対策活動により犯罪組織の動きに変化が生じ、一時的に通常より危険性が高まる場合もありますので、これらの場所を通る際には、常に最新の情報を入手するように努めてください。ジャカレジーニョから締め出された薬物中毒者が最近、アヴェニーダ・ブラジルからガレオン空港につながるアヴェニーダ・ブリガデイロ・トロンプウスキーへの流入地点(別添地図参照)付近に集まっており、不意に車道に駆け出してくることがあるとの報告があります。